

| 科 目 名                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="text-align: center;"><b>哲学の出発点</b><br/><b>What is Philosophy ?</b></p> |

1年 前期 2単位 選択

広 川 明

### 【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1)，(2)，3-(3)  
建築学科教育カリキュラムとの対応：

| 学習・教育目標 | JABEE基準1の(1)の知識・能力 | コース名    | 必修／選択の別 | 授業時間   |
|---------|--------------------|---------|---------|--------|
| A       | —                  | 建築総合コース | 選択      | 22.5時間 |
|         | A 1                | 建築計画コース |         |        |
|         | a                  | 建築構造コース |         |        |

### 【概 要】

人間は社会の中で生まれ、成長してゆく存在である。家庭や学校で育ち、大人になってからも、職場や隣近所のような社会の中で生きていく以上、場合によっては、他者とのやっかいな関係に立たされて苦悩することも避けられない。

信じていた人から裏切られることや、努力や誠意が踏みにじられることもあろうし、また、人前で侮辱され、いたたまれない気持ちになることもあろう。人とのつきあい、傷つき、大きなストレスを抱えたまま暮らしている人もたくさんいるはずである。

そんな中で、自分を見失わずに生きていくのはむずかしいことである。とりわけ現代の若者にとって、こうした問題は大きな関心事であり、悩みの種ともなっているようである。

この授業では、「私（自分）と他者」について考えることとする。他者との関わりにおいて、あるべき自分の姿は何かを探りたい。

### 【到達度目標】

対人関係の中にいる自分を第三者的にながめる態度を養う。

### 【授業計画】

- ① 鏡（他者）に映る自分
- ② 社会化：「私」になること
- ③ 他人から認められること（承認）の重要性
- ④ 承認とアイデンティティ
- ⑤ 優越感・傲慢と劣等感・自信喪失
- ⑥ 人はひとりで生きていけるか
- ⑦ 孤独の中で：自分との出会い
- ⑧ 相互承認と自信：他者を肯定し、自分を肯定する
- ⑨ われとなんじ：こころの交流を行いうる相手との出会い
- ⑩ 浅い関係と深い関係
- ⑪ やさしさ：お互いのこころに入り込まないこと
- ⑫ 信頼・友情と対立・嫌悪
- ⑬ 世人：自分を見失った人々
- ⑭ 現代社会：技術文明の支配とあたらしい孤独
- ⑮ 総 括

### 【授業方法】

通常の講義のほかに、授業中に小レポート（数回）を実施する。また、授業計画に応じたビデオを視聴する予定である。

### 【授業到達度の評価】

- 1) 授業中（あるいは授業終了後）に時間を設けて質問を受ける。質問がない場合は、教員より学生に質問して、單元ごとに理解度を確認する。
- 2) 授業が数回進んだところでアンケートをとり、理解度や授業の難易度をチェックする。また、分からない点なども指摘してもらう。

### 【評価方法】

授業中に実施する小レポート（25%）、定期試験（75%）により総合的に評価する。

### 【教 材】

教科書：使用しない。その代わり、試験に十分対応できるように板書はくわしくする予定である。

参考書：M.ブーバー『我と汝・対話』（植田重雄訳、岩波文庫）

渡邊二郎『人生の哲学』（放送大学教育振興会）

他の参考書は授業中に紹介する。